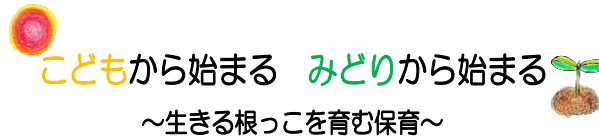


幼保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園



「まこと先生だより 第24号」

以上児への異年齢保育クラス導入の説明 <2> (令和5年4月開始)

今号では、「県内及び市内における異年齢保育導入園の紹介」「異年齢保育導入園の成果と課題」「異年齢保育導入に伴う体制等」についてご説明いたします。

1 県内及び市内における異年齢保育導入園の紹介と訪問園

就学前教育におけるクラス

- 年齢別保育（横割り保育）
※年齢毎のクラス分け
- 異年齢保育（縦割り保育）
※年齢の違う子どもを同じ
クラスで保育する

<表1> 小学校入学前の教育・保育施設である保育園・幼稚園・こども園は一般的に「年齢別保育」又は「異年齢保育」を実施しています。

異年齢保育は以上児（3～5歳）クラスへの導入園が多いようです。

<表1>

宮崎市における異年齢保育導入園

- インターネット検索 清武幼稚園
- | | |
|---------|-------------|
| 七つの星幼稚園 | 天神ノ森きらら |
| アリスこども園 | 清武中央こども園 |
| アップル保育園 | 横町さくら保育園 |
| まなびこども園 | どうめき保育園 |
| 光が丘幼稚園 | 夢の森保育園（宮大内） |
| 住吉東保育園 | 潮見保育園 |

<表2>

県内における異年齢保育導入園

- インターネット検索
- | | |
|-----------|----------|
| 三股中央保育園 | こぼと保育園 |
| 稗田保育園 | ひので保育園 |
| みやこぼるこども縁 | |
| 谷頭こども園 | おおむたこども園 |
- 県外視察<副園長・難波>

<表3>

<表2> 宮崎市内で異年齢保育を導入している教育・保育施設をインターネット検索したところ13施設がヒットしました。この中で「青文字」の園には私が直接訪問して異年齢保育の実際についてお話を伺いました。町内の清武幼稚園と清武中央こども園も異年齢保育を実施しています。特に、モンテッソーリ教育を行っている園は異年齢保育導入園が多いようです。

＜表 3＞ 県内では、都城地区において異年齢保育が盛んに行われています。昨年の九州大会では都城市の「みやこぼるこども縁（園ではなく縁を使用）」と「谷頭こども園」が異年齢保育について発表しました。私はその両園を訪問しました。また、副園長と難波先生、鍋倉先生と櫻田先生にはみやこぼるこども縁を訪問していただきました。さらに、4月から開始する異年齢保育を実際に体験し、情報を収集し、課題を整理するため12月には難波先生がみやこぼるこども縁で異年齢保育一日体験を、1月には櫻田先生と鍋倉先生がおおむたこども園で異年齢保育一日体験をされました。他にも2月から3月にかけて6名の先生方に異年齢保育先進園で一日体験をしていただきます。なお、副園長と難波先生には三重県の「わかすぎ第2保育園」と愛知県の「千種わかすぎ保育園」で異年齢保育等に関する視察もしていただきました。

2 異年齢保育導入園の成果と課題

みやこぼるこども縁の成果

- ・年少・年中が年長児へのあこがれを抱く
- ・年長児が小さい友達と関わることで思いやりやお世話する気持ちが芽生える
- ・トラブルなどの経験から解決する力（姿）が育つ
- ・子どもから子どもへ伝える場面が増え伝え方が身につく
- ・同年齢同士との関わりが難しい子どもも異年齢だと関りがもて、安心して過ごす

みやこぼるこども縁の課題

- ・年長児の遊びが制限される
- ・排泄などの生活面で年少者へ目や手をかけることが多くなる
- ・作品などの保存が難しい
- ・運動会や発表会の年齢別
※異年齢クラス体験談の紹介(主任)

＜表 4＞

＜表 4＞みやこぼるこども縁の園長先生が九州大会で異年齢保育を発表された翌週に、みやこぼるこども縁を訪問させていただきました。朝10時から夕方6時までの訪問となりました。実際にクラスに入り、3歳から5歳の異年齢での学びや遊びを見せていただきました。5歳児が3歳児の手を取りトイレに連れて行ったり、5歳児がハサミや糊の使い方を3歳児に教えたりする微笑ましい場面を見て、先生だけでなく子ども同士での教えあいや学び合いがあることに驚きました。異年齢保育により「あこがれ」「思いやり」「お世話体験」「子ども同士の教えあいと学びあい」などを感じることができました。

＜表 5＞

＜表 5＞しかし、異年齢保育にも課題はあります。みやこぼるこども縁では「年少児のお世話をするため年長児の遊ぶ時間が制限される」「生活面で年少児へのお世話が多くなる」「運動会や発表会は年齢別で行うため練習をどのようにおこなうか」などの課題があるようです。

3 異年齢保育導入開始における職員体制等

異年齢保育の体制(案)			
〇0歳～2歳：同年齢クラスの継続			
〇3歳～5歳：異年齢クラスの導入			
異年齢クラスA	25名程度	担任1名	担任補助1名
異年齢クラスB	25名程度	担任1名	担任補助1名
異年齢クラスC	25名程度	担任1名	担任補助1名
異年齢クラスD	25名程度	担任1名	担任補助1名
フリーの保育教諭：1名		合計9名の体制	



<表6>

<表7>

<表6> 異年齢保育は、子ども同士の教えあいと学びあいができる年齢への導入を考えています。未満児（0歳～2歳）については、先生方のお世話や支援が大必要な時期であることから、これまでと同じ同年齢保育を継続します。教えあいや学びあいが期待できる以上児（3歳～5歳）に異年齢保育を導入します。現状では異年齢保育クラスを25名程度の4クラスで考えています。各クラスを担任と担任補助の2名が担当し、以上児全体にフリーの保育教諭1名を配置して、9名体制で異年齢保育クラスの支援を行います。

<表7> 異年齢保育クラスでは、年齢の違いや成長・発達の違う子どもたちがいるため、活動によっては年齢別で行う活動もあります。異年齢保育クラスでは、活動内容によっては「3歳児だけで」「4歳児だけで」「5歳児だけで」行う活動も考えられます。その場合は、年齢別の集団に子どもたちを分けて、各年齢で3名の先生方が支援を行うこととなります。このように異年齢保育を中心としながらも同年齢保育を適切に取り入れ、多くの先生方が子どもたちを多面的に見守る保育ができるようになります。

4 異年齢保育導入のまとめ

4月からの導入を予定している異年齢保育は、全ての活動を異年齢で行うことではありません。異年齢保育での活動を中心としながらも、年齢の違いや成長・発達の違い、保育内容などを考慮して同年齢保育も適切に実施していきます。

昨年4月より異年齢保育導入を見据えて、県内の多くの先進園を訪問しました。また、副園長や多くの先生方にも導入園で視察や体験をしていただきました。同年齢保育も異年齢保育もどちらも良さと課題があります。少子化の中で将来の不透明な時代を生きていく子どもたちにとって、異年齢も同年齢も体験できる異年齢保育を導入することが求められている時代ではないかと考えています。

※次号では、12月の説明会に来られた保護者の皆様から頂いた貴重なご意見やご質問等についての園の基本的な考え方をお伝えいたします。園長 有嶋 誠